

# 令和3年度 福岡県移住者子弟留学生 第1回報告書（6月）

テーマ

「自分の出身国の事。  
福岡に来てから今日までのこと。」

## ブラジル福岡県人会

江上 リサ あゆみ

九州産業大学造形短期大学部

日本人の父と日系三世の母でサンパウロ市に生まれました。母の方のひいおじいさんは福岡県出身で1914年に帝国丸という船でブラジルへ移住しました。

2015年に母の家族が住んでいるパラナ州のノーバエスペランサ市に引っ越ししました。その次の年マリンガ市にあるユニセズマル総合大学ファッション学部に入學し2019年に卒業しました。2018年ベニニ氏のプロダクションアシスタントとして仕事を始めました。

ブラジルでの日々は忙しい時期と穏やかな時期があり、ベニニ氏との仕事は彼のアポイントメントに合わせてしていました。その仕事の内容は様々なキャンペーン、カタログ、パレード、等々。時々仕事で旅行することもあり、その時はまだ知らない所を訪れる事が出来てとても素敵でした。ベニニ氏との仕事が無い時は祖父の養鶏場で母の手伝いをしていました。

母は1984年の県費留学生です、母からこの制度について聞いて受けることを決心しました。試験を受けるためブラジル福岡県人会に行って、テストは難しく合格したと分かった時とてもびっくりしました。留学の課題は写真の研究です。写真を私の仕事に活躍したいと思っています。

最初の予定では2020年に福岡へ来るはずでしたが、新型コロナウイルスのため来ることが出来ず、二回目の挑戦で2021年やっと福岡へ来ることが出来ました。

出発の日が近づくにつれて、心配で眠れない日もあり、書類は揃っているかしら、トランクの重量は大丈夫でしょうか、服は何がいいのか、等々。実際にトランクを薬局に計りに行ったら案の定重量オーバーになっていました。23キログラムまでが制限ですが26キログラムなっていました。出発数時間前にカメラを忘れていることに気付きました。今思えばおもしろいです。

私のフライトはマリンガ市を朝の6時に出発し、サンパウロ市グアルーリョス空港での国際便は午後の17時50分の出発でしたので母がグアルーリョス空港まで見送ってくれました。空港では10時間のコネクションがあり、そこでボリビアの

宮園豊光さんと会いました。友達も見送りにきてくれました。ブラジル福岡県人会副会長の福永ミルトンさんも見送りにきて下さいました。

飛行機はお客が少なくゆったりしてよく眠ることが出来ました。途中でフランクフルトで乗り換えがあり、そこで昼食をしました。ドイツはソーセージが有名なのでホットドッグを食べました。とっても美味しかったです。日本行きの飛行機も人が少なくゆったりしていました。でも日本へ着くのが待ち遠しく寝ることが出来ませんでした。

心をワクワクさせながら羽田空港に到着しました。まず最初に新型コロナウイルスのテストをし、いろいろな書類を書き込みアプリのチェックを受けました。テストが陰性でしたので無事 3 日間の完全隔離をするホテルまでバスで行きました。両国国技館の近くにある **APA Hotel & Resort** に連れて行かれました。見晴らしは素晴らしかったが部屋から出ることが出来ず疲れていたのでたくさん寝ました。食事の時間は放送で知らされ部屋の前まで運ばれてきました。テレビを見たりブラジルの友達と携帯でお話やゲームをしたりして時間を過ごしました。

三日間の完全隔離を終えた時に再度新型コロナウイルスのテストを受け結果を受けて空港まで送ってくれました。その後 1 2 日間の隔離をするためハイヤーで **Hotel Monday** へ行きました。ホテルは朝食付きでしたが昼食と夕食は自分で買わなければなりませんので近くのコンビニまで行くことが出来ました。

1 2 日間を終えてやっと福岡へ行く日が来ました、荷物を片付けてホテルのバスで羽田空港へ行きました。搭乗直前に宮園さんと会い福岡へ出発しました、機内は満席でした。

福岡空港では福岡県国際交流センターの皆様と家族会の皆様に出迎えられました。とても嬉しかったです。空港から寮へ行きました。そこは私が今年一年間暮らす所です。寮でジュリアノ先輩と知り合いになりました。

最初の月曜日にはオリエンテーションがあり、色々指導がありました。その後住民票を申請に行きましたが戸籍謄本が必要でしたので出来ませんでした。火曜日に私がお世話になる大学に行き、指導教授のシム先生を紹介されました。とっても緊張しましたが大丈夫でした。水曜日にシム先生と受ける授業を決めました。授業はとっても興味深く楽しいです。クラスメイトと友達になりました。皆様はとてにぎやかで楽しいです。

時々日本の料理を食べるのに食事に出かけます、今まで餃子、カレー、唐揚げ、豚カツ等を食べました。とっても美味しかったのでもっと食べたくになります。大学

では食堂とお弁当があります。安くて美味しいです。学生生活にとっても助かっています。

福岡では幾つかの所へ行きました、博多では買物、映画、神社に行き、大学の課題のため写真を撮りました。天神では有名なブランドの店があります。国際交流センターがある **ACROS** にも行きました。とっても広く色々な展示会場があり面白いです。福岡タワーがある百道にも行きましたがタワーは閉鎖されていたので友達とビーチに行きました。パウラ先輩は太宰府天満宮に連れて行ってくれました。そこではあじさいの花がとっても素敵でした。博物館にも行きました。

家族会の大瀧様が浴衣のプレゼントを下さいました。福岡市東区の土井駅近くの浴衣のお店に行き皆様に暖かく出迎えられました。浴衣の着方も教えてくれました。折り紙の様な感じで面白かったです。又、立石さんから食事の招待があり、お家に行きました。ご家族の皆様はとっても暖かくたくさんお話をしてゲームもしました。とっても楽しい時間を過ごしました。

以上が私の福岡での最初の印象と経験です。これから機会があればもっと色々な所へ行きたいと思います。

## 在ボリビア福岡県人会

### 宮園 豊光

九州産業大学芸術学部

はじめまして、ボリビアの県人会から来ました、宮園豊光と申します。私はサンタクルスで生まれて、昨年ソーシャルコミュニケーション学部を卒業しました。母国では、写真家とYouTuberでありながら、妹と一緒にピーナッツバターやピーナッツ豆腐を作る会社をやっています。

私の母国語はスペイン語ですが、英語とポルトガル語も話せます。私の日本語は、まだ、未熟ですが、一生懸命頑張って勉強しています。

日本に入国するのは、今回で3回目になり、福岡へ来るのは、初めてです。母と祖父母の出身地は、福岡です。私の家族は、両親、兄、私と双子の妹です。父はボリビア人で、母は福岡県八女市黒木町で生まれました。祖父母は1968年にボリビアの移住地のサンファンへ、祖母、3人の子供と一緒に移住しました。

私が生まれ育ったサンタクルスの街から車で約3時間離れているサンファンで、祖父母たちは、農業と卵の生産に専念しました。

2015年に日本へ初めて母、私と妹と一緒に来たとき、街の通りからバスルームまで、全てが私を驚かせました。2018年には、JICAの日系リーダープログラムのお陰でまた日本に来る事ができました。その時は、日本の非常に有名な大学を訪問し、南米各地からの日系人の友達も作りました。

コロナウイルスの大流行で難しい決断でしたが、県費留学生として福岡へ来日し、ルーツの事をもっと知り、日本語も学ぶ良い機会なので、一つの目標になりました。

九州産業大学の芸術学部で写真とビデオの勉強をしています。まだ日本語が良く分からないので授業は難しいですが、クラスメートや先生方はとても親切に教えて手伝ってくれています。私は毎日家で日本語の勉強をしています。大学で毎週金曜日に1時間教えてくれている先生がいます。

福岡に到着して、最初の数週間は、何も知らなくて少し迷子になった事もありました。福岡に滞在してから約2か月が経ちましたので、自信と能力が増えています。

ジュリアーノ、アナ・ポーラ、ケリー、ユイチの様な先輩たちが近くにおいて、日本での最初の誕生日も祝って下さり、私を特別な気持ちにさせてくれたのは今でも、とても幸運に思っています。

一緒の寮に住む先輩がバースデーケーキを持ってきてくれて、日本について沢山教えてくれて、いつも日本語のことも説明してくれています。

ここ数週間でラーメン、とんかつ、だんご、焼肉、あぶりチーズサーモン寿司など、美味しいものをたくさん食べる事ができて、幸せになりました。

ほぼ毎日ジョギングをしていて、今週から大学の体育館に通い始め、少林寺拳法の部活にも入門しました。

今年の最初の目標は、日本語能力を上げて、大学の全てを学んで、体験して新たな友達も作りたいです。

福岡で体験して学んだ事を YouTube チャンネルで公開して、多くの方々に福岡や日本の素晴らしい文化とマナーを知って頂く為の架け橋になり、県人会の発展にも貢献したいと思い、いくつかのビデオを作成しました。良かったらご覧ください。